

水辺とアートの魅力を世界へ広げる新たな歩みへ。

当協会は、設立 10 周年という重要な節目を迎えました。天王洲キャナルフェスをはじめとするさまざまな地域活動を通じて、地域の皆さまの温かいご支援をいただきながら、天王洲アイルを「水辺とアートの街」として魅力を発信してまいりました。

私たちは、日常的に賑わいを生み出す街づくりを目指し、天王洲ならではのアートが映える街並みの形成に注力しています。街全体をひとつのミュージアムのように見立て、数々のアート作品を展示することで、訪れる人々に感動や新しい発見を提供してきました。

また、水辺でのプロジェクションマッピングや夜間景観のライトアップを推進し、天王洲アイルの美しい水辺の景観をより一層引き立てることに成功しました。これにより、地域の賑わい創出にも大きく貢献できたことを嬉しく思います。こうした取り組みに対し、地域住民の皆さまからも大きなご理解をいただき、共に歩んできたことに深く感謝申し上げます。

2024 年 3 月、当協会は観光まちづくり法人（DMO）に登録され、天王洲アイルをさらに魅力的な街へと発展させるための大きな一歩を踏み出しました。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを引き継ぎ、国内外に天王洲アイルの魅力を発信し続けるとともに、観光の視点から街づくりに取り組むことで、新たな賑わいを創出してまいります。

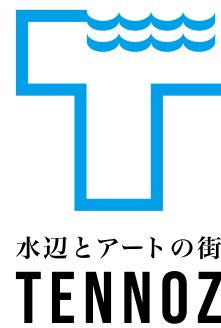
天王洲アイルは、ウォーターフロントの都市型観光地として、アートと文化のさらなる発信拠点となることを目指して進化し続けます。今後も、皆さまのご支援とご協力をいただきながら、「水辺とアートの街」としてさらなる発展を遂げてまいります。

当協会は設立以来、地域の皆さまや大学、行政との連携を大切にし、共に街づくりを進めてまいりました。これまでの活動に対する深いご理解に、心よりお礼を申し上げます。今後とも、当協会への一層のご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



一般社団法人 天王洲・キャナルサイド活性化協会
理事長

三宅康之



天王洲の水辺を、世界から人々が集う魅力溢れる文化観光の体験空間に。

「水辺とアート」という希少な景観空間を活かして独特な日常を生み出している天王洲アイル。さらには屋形船事業者、劇場などのまちなかエンタテインメントも充実しています。これらに加えて隣接する東海道品川宿場町など歴史情緒あふれる街並みもあり、この多彩な事業者やコンテンツを融合させ魅力ある観光エリアとしての拠点づくりを推進し、働く人、住む人、訪れる人にとって魅力的な観光地域づくりを目指します。

法人理念
PHILOSOPHY

文化とアートの融合により人々の心を豊かにする

活力に溢れた社会を作り出す

運河でつながる湾岸エリアの新しい魅力を創造する

“働いてよし、住んでよし、訪れてよし” 豊かな都市文化観光地域づくり

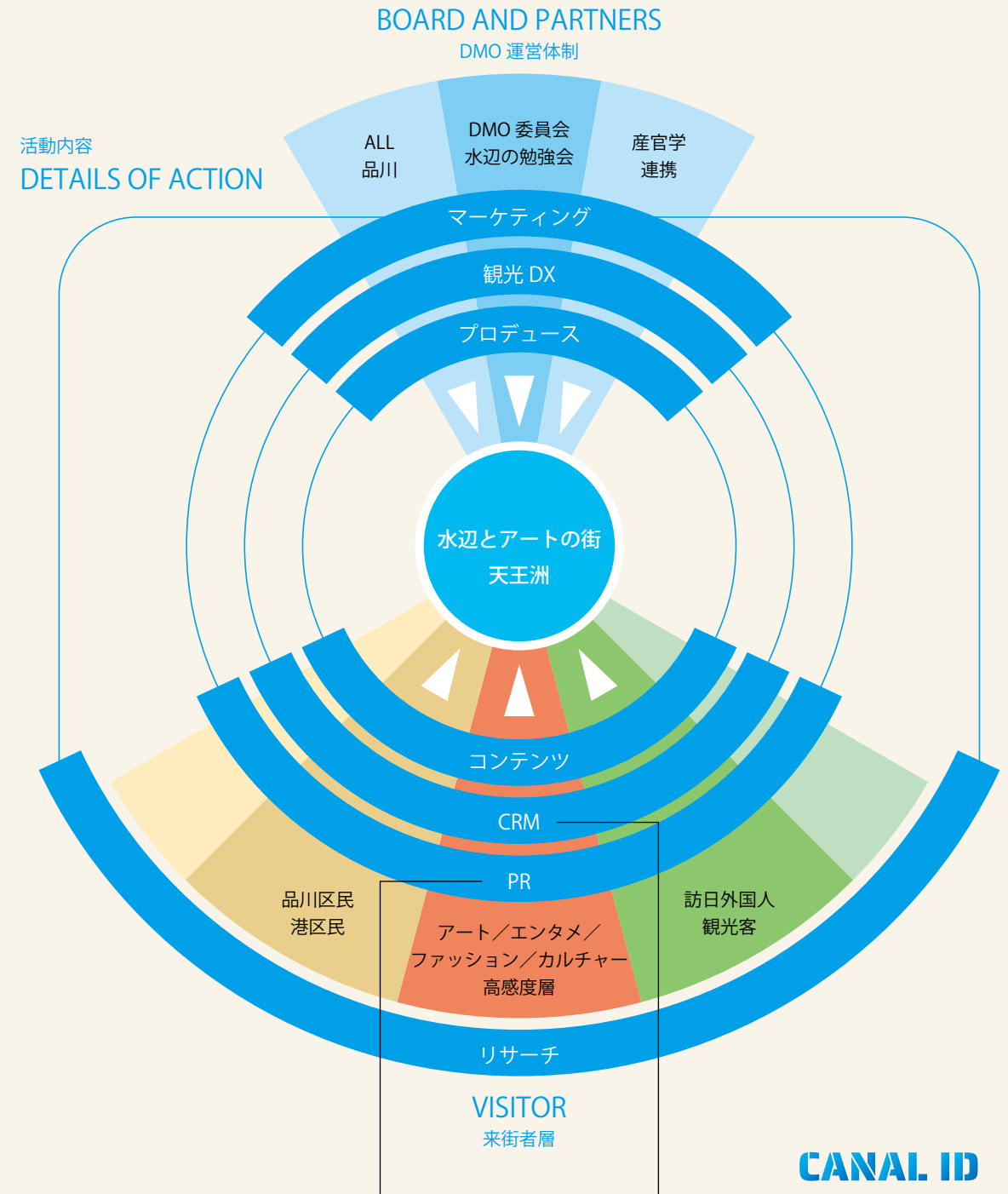
水辺とアートを活用した観光街づくりの推進

産・官・学・地域との連携の強化

地域のブランディング・マーケティングの推進

ACTION POLICY

活動方針



- 各オウンドメディア
- ・SNS：Instagram・LINE・YouTube
 - ・天王洲魅力体験発信 WEB メディア：TENNOZ NAVI
 - ・クラウド型街巡りガイドサービス：Smart Town Walker®
 - ・アバターコミュニケーションシステム：AttendStation®
 - OTA 連携/プレスメディア展開 など

天王洲アイルおよび周辺エリア加盟店の提供サービスを
便利に使用可能なオンライン共通 ID

2015

2015年1月 協会設立

2016

連携：しながわ観光フェア

運河クルーズ/渡し舟 (天王洲キャナルフェス企画)

天王洲キャナルフェス

プロジェクションマッピング/ライトアップ

水辺の芸術祭

- ・天王洲キャナルフェス初開催
- ・天王洲キャナルフェス年間来場者数 **33,100人**
- ・東京海洋大学連携「こども大学」初開催 (天王洲キャナルフェス企画)
- ・ビル壁面活用 プロジェクションマッピング社会実験実施

これまでの歩み



天王洲・港南キャナルフェス夏 初開催 (水辺の賑わい創出)



マーケット (ボードウォーク活用)



マーケット (ボードウォーク活用)



船上ライブ (水上施設活用)



アート写真展示 (ボードウォーク活用)



ライブペインティングイベント (屋外通路活用)



アート写真展示 (ビル壁面活用)



こども大学 (東京海洋大学連携コンテンツ開発)



水上パレード・ミニクルーズ・渡し舟 (舟運活性化)



新東海橋ライトアップ (水辺の賑わい創出)

2017

連携：しながわフェスウィーク/水辺の観光フェスタ

運河クルーズ/渡し舟 (天王洲キャナルフェス企画)

天王洲キャナルフェス

プロジェクションマッピング/ライトアップ

水辺の芸術祭

観光イベント：共催・協力・運営受託など

・天王洲キャナルフェス年間来場者数

64,700人

- ・ビル壁面3面活用 プロジェクションマッピング社会実験実施
- ・イベント会場として台船初活用

- クラシックカー・カナルギャラリー (2017~2019)
- 天王洲キャナルジャズ (2017~2018)
- 天王洲キャナル・アート・インフィオラータ (2017)



ビル壁面3面活用によるプロジェクションマッピング投影 (社会実験)



水上テラス (台船活用)



生演奏付き目黒川ナイトクルーズ (舟運活性化)



Eボート体験会 (子ども向けコンテンツ開発)



POPUP ギャラリー (水上施設活用)



アート写真展示 (ふれあい橋活用)



アート写真展示 (ビル壁面活用)



天王洲キャナル・アート・インフィオラータ



フラワーアート展示 (道路活用)



クラシックカー展示 (道路活用)

2018

連携：しながわフェスウィーク/水辺の観光フェスタ
運河クルーズ/渡し舟 (天王洲キャナルフェス企画)
天王洲キャナルフェス
プロジェクションマッピング/ライトアップ
水辺の芸術祭
観光イベント：マーケットなど
観光イベント：共催・協力・運営受託など
水辺の勉強会

・天王洲キャナルフェス年間来場者数
53,200人

- ・ビル壁面活用 巨大屋外アート創作
- ・Tennoz Harbor Market
- ・NORDIC JOURNEY
- ・TENNOZ COLLECTION
- ・TENNOZ FOOD CULTURE MARKET
- ・TENNOZ VILLAGE
- ・TOKYO CANAL LINKS
- ・Italia, amore mio!
- ・厳選梅酒まつり
- ・HOLIDAY CIRCUS
- ・天王洲キャナルヨガ
- ・クラシックカー・カナルギャラリー
- ・天王洲キャナルジャズ



屋外アート創作 (ビル壁面活用)



ワークショップ (子ども向けコンテンツ開発)



こども大学 電池推進船 乗船体験会 (東京海洋大学連携)



水上テラス・ヨガ (台船活用)



船上茶会 (水上施設活用)



4橋梁ライトアップ (東京都運河エリアライトアップ連携)



水辺の勉強会 大阪視察ツアー (水辺活性化調査)

2019

連携：しながわフェスウィーク/水辺の観光フェスタ
インバウンド屋形船ナイトクルーズ
運河クルーズ/渡し舟 (天王洲キャナルフェス企画)
天王洲キャナルフェス
天王洲・キャナルアートモーメント
天王洲アートフェスティバル
観光イベント：マーケットなど
観光イベント：共催・協力・運営受託など
水辺の勉強会

・品川区景観計画「天王洲地区」重点地区指定
・天王洲キャナルフェス年間来場者数
52,400人

- ・インバウンド向けクルーズ初実施
- ・天王洲アートフェスティバル初開催
- ・天王洲・キャナルアートモーメント初開催
- ・プロジェクションマッピング活用
- ・ラグビー W杯パブリックビューイング開催
- ・Tennoz Harbor Market
- ・NORDIC JOURNEY
- ・Tennoz Farmers Market
- ・TENNOZ COLLECTION
- ・TENNOZ VILLAGE
- ・JIN FESTIVAL TOKYO!
- ・SAKE フェス
- ・クラシックカー・カナルギャラリー



天王洲・キャナルアートモーメント (台船・屋形船・棧橋・プロジェクションマッピングなど総合活用)



屋外アート創作 (船着場待合所活用)



期間限定アートギャラリー (運河背後地施設活用)



水上スケートリンク (台船活用)



3on3 バスケットボール (道路活用)



インバウンド向け屋形船クルーズ (舟運活性化)



パブリックビューイング (水辺の賑わい創出)

2020

連携：水辺の観光フェスタ
ENJOY しながわ屋形船キャンペーン
運河クルーズ/渡し舟 (天王洲キャナルフェス企画)
天王洲キャナルフェス
キャナルアートモーメント品川
天王洲アートフェスティバル
観光イベント：マーケットなど
観光イベント：共催・協力・運営受託など
水辺の勉強会

・東京都プロジェクションマッピング活用地区指定
・天王洲キャナルフェス年間来場者数
4,000人

- ・天王洲キャナルフェス、キャナルアートモーメント品川 オンラインにて開催
- ・Tennoz Harbor Market
- ・NORDIC JOURNEY
- ・TENNOZ VILLAGE



天王洲キャナルフェス夏 オンライン配信



天王洲キャナルフェス夏 オンライン配信



天王洲キャナルフェス秋 オンライン配信



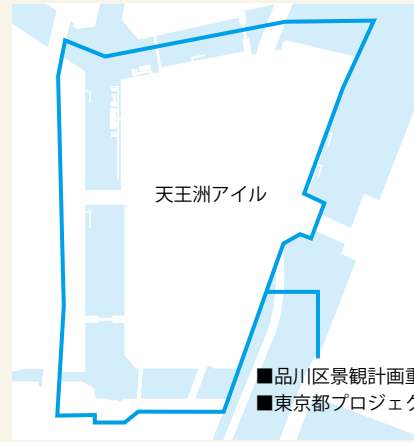
キャナルアートモーメント品川 オンライン配信



水辺の勉強会 オンライン開催



天王洲キャナルフェス冬 一部リアル開催



ボードウォークパラソル・プロジェクションマッピング (水辺の賑わい創出・女子美術大学連携)

- 連携：しながわ水辺の観光フェスタ
- 運河クルーズ（天王洲チャンネルフェス企画）
- 天王洲チャンネルフェス
- プロジェクションマッピング
- 天王洲アートフェスティバル
- 観光イベント：マーケットなど
- 観光イベント：共催・協力・運営受託など
- アイルしながわ運営
- 水辺の勉強会

・観光庁 DMO 登録
・天王洲チャンネルフェス年間来場者数
46,000 人

- Tennoz Harbor Market
- NORDIC JOURNEY
- Home Made
- MEET YOUR ART FESTIVAL
- SOMPO JAPAN CUP2024 ホッケータウンマルシェ
- TENNOZ ART WEEK 2024

アイルしながわ・マーケット来場 国内在住外国人の声

※当協会インフルエンサーファムツアー調査
2024/9・10・11 実施

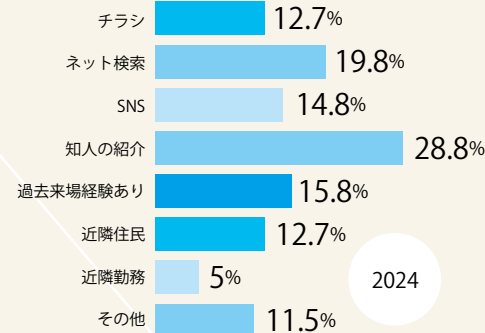
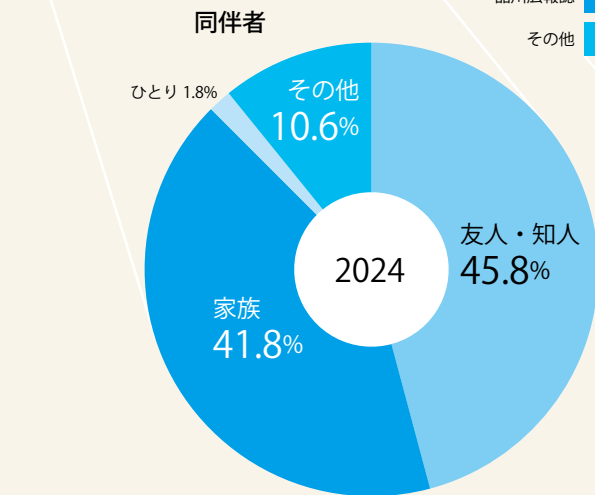
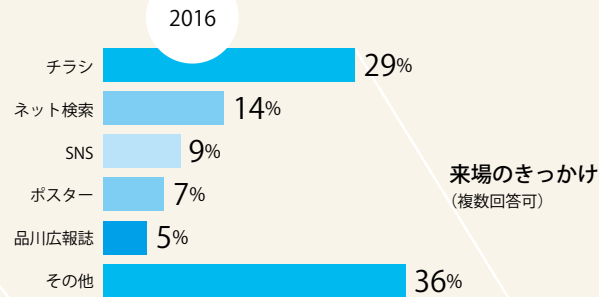
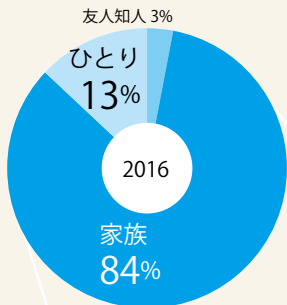
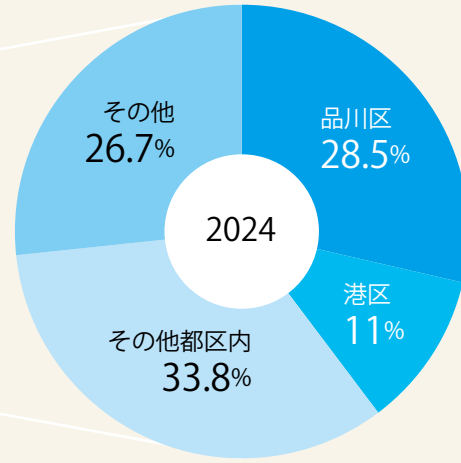
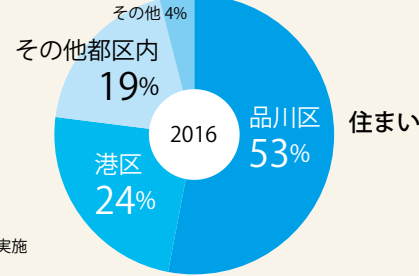
- Q:天王洲を知っていましたか？
YES：72%
※天王洲=T.Y.HARBOR というイメージで有名
- Q:Tennoz Harbor Market を知っていましたか？
NO：100%
- Q:Tennoz Harbor Market 満足度
高い+やや高い：100%
- Q:また Tennoz Harbor Market に参加したいか？
参加したい：72%
どちらかというに参加したい：14%
どちらでもない：14%



2024（フェス年2回開催）
23,000 人
平均来場者数

16,550 人
2016（フェス年2回開催）
2016年・2024年比較
天王洲チャンネルフェス
来場者の変化

※当協会アンケート調査 2016/10・2024/10 実施
※調査方法が異なるため参考値



天王洲チャンネルフェス 2024 春夏

日程：2024/5/31（金）・6/1（土）・6/2（日）
会場：天王洲アイル第三水辺広場周辺、天王洲運河、アイルしながわ
概要：音楽・映画・アート・食・スポーツで天王洲を満喫。
実力派アーティストがライブパフォーマンスを披露する「船上ライブ」や、大人気子ども向けコンテンツの「こども大学」ではDJ体験・3x3バスケット体験・アート制作などの様々なジャンルのワークショップを開催。
船上ライブ/水辺の映画祭/こども大学/芸人ライブ/こども映画祭/チャリティライブ/HOME MADE/アートマルシェ/アートクルーズ/STREET FOOD FESTIVAL/チャンネルサイドマルシェ/アートツアー/WHAT MUSEUM ツアー/(MU) ROOM Ride

主催：一般社団法人 天王洲・チャンネルサイド活性化協会
特別協賛：寺田倉庫株式会社
特別協力：パナソニック オペレーションナルエクセレンス株式会社/パナソニック映像株式会社/ Million Dollars Department / ロケットペンシル株式会社
協力：ケネディクス・プライベート投資法人/三菱地所プロパティマネジメント株式会社/三井不動産リアルティ株式会社/株式会社テレビ東京/株式会社テレビ東京アート/株式会社artical / AlphaTheta / 株式会社サウンドクルー / NPO 法人なぎさの会/天王洲リテールマネジメント株式会社/株式会社品川カルチャークラブ/株式会社トミデン/三河屋/平井/船清/大江戸/むつみ丸/中金/丸長/丸裕/幸吉丸/ZEAL / 縄定
後援：品川区/港区/東京都港湾局/国立大学法人東京海洋大学/公益財団法人品川文化振興事業団/一般社団法人しながわ観光協会 / 公益社団法人日本航海学会/東京商工会議所品川支部/一般社団法人港区観光協会/港南振興会/一般社団法人エリアマネジメント TENNOZ / 品川浦・天王洲地区運河ルネッサンス協議会/公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団





天王洲チャネルフェス 2024 秋冬

日程：2024/10/18（金）・10/19（土）・10/20（日）
 会場：天王洲アイル第三水辺広場周辺、天王洲運河、アイルしながわ
 概要：音楽・映画・アート・食で秋の天王洲を満喫。アジア最大級のジンの祭典“GIN FESTIVAL TOKYO 2024”が5年ぶりに同時開催。実力派アーティストがライブパフォーマンスを披露する「船上ライブ」や、大人気子ども向けコンテンツの「こども大学」では東京海洋大学の教授による特別授業、プロのDJによるDJ体験教室、レジンジュエリー制作や乗船体験などの様々なジャンルのワークショップを開催。
 船上ライブ/水辺の映画祭/ STREET FOOD FESTIVAL / BEER meets GOURMET / ジンフェス / minikura パザール / こども大学 / こども映画祭 / アートマルシェ / LITTLE FOREST / お笑いライブ / アートツアー / HOME MADE / 天王洲緑日 / WHAT MUSEUM ツアー / PIGMENT TOKYO ワークショップ / EZOHUB TOKYO 一般開放 / アートクルーズ

主催：一般社団法人 天王洲・チャネルサイド活性化協会
 特別協賛：寺田倉庫株式会社
 協賛：アート引越センター株式会社 / 株式会社 ABE MOTORS / 株式会社 GOALDS / 有限会社 K・R・S / 芝浦荷受株式会社 / 株式会社 GSTV / 有限会社新長崎建設 / 有限会社スタジオ・ファンデーションズ / 大東建設株式会社 / 田中建設株式会社 / TERRADA Holdings 株式会社 / 東急不動産株式会社 / 東京燃料林産株式会社 / 東テック株式会社 / 株式会社都市企画 / 株式会社トミデン / 日栄住宅建設株式会社 / 日本通運株式会社 / 日本航空株式会社 / 日本設備工業株式会社 / 株式会社ハリマビステム / 株式会社みずほ銀行 / 三井不動産レジデンシャル株式会社 / 株式会社ユーロJスペース
 特別協力：パナソニック オペレーションズ株式会社 / パナソニック映像株式会社 / Million Dollars Department / ロケットペンシル株式会社
 協力：ケネディクス・プライベート投資法人 / 三菱地所プロパティマネジメント株式会社 / 三井不動産リアルティ株式会社 / 株式会社テレビ東京 / 株式会社テレビ東京アート / アート引越センター株式会社 / 株式会社 artical / AlphaTheta / 株式会社サウンドクルー / NPO 法人なごさの会 / 天王洲リテールマネジメント株式会社 / 株式会社品川カルチャー / 株式会社トミデン / 株式会社 cup of tea / 大東建設株式会社 / 野村不動産株式会社 / 三河屋 / 平井 / 船清 / 大江戸 / むつみ丸 / 中金 / 丸長 / 丸裕 / 幸吉丸 / ZEAL / 編定
 後援：品川区 / 港区 / 東京都港湾局 / 国立大学法人東京海洋大学 / 公益財団法人品川文化振興事業団 / 一般社団法人しながわ観光協会 / 公益社団法人日本航海学会 / 東京商工会議所品川支部 / 一般社団法人港区観光協会 / 港南振興会 / 一般社団法人エリアマネジメント TENNOZ / 品川浦・天王洲地区運河ルネッサンス協議会 / 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団



NORDIC JOURNEY

日程：2024/2/10（土）・2/11（日）・9/14（土）・9/15（日）
 会場：アイルしながわ
 概要：2023年から北欧式を年2回開催の定期企画イベントとして実施。運河沿いの会場でヴィンテージやアンティークの取り扱いを中心に、北欧にまつわる選りすぐりの店舗が全国より集まる2日間限りの特別なマーケットイベント。

主催：Million Dollars Department
 一般社団法人 天王洲・チャネルサイド活性化協会
 後援：品川区 / スウェーデン大使館 / デンマーク王国大使館 / フィンランド大使館



TENNOZ HARBOR MARKET

日程：2024/1/20（土）・1/21（日）・3/9（土）・3/10（日）・4/20（土）・4/21（日）・5/11（土）・5/12（日）・6/15（土）・6/16（日）・7/13（土）・7/14（日）・11/16（土）・11/17（日）・12/14（土）・12/15（日）
 会場：アイルしながわ

概要：アンティーク、ヴィンテージファッション、作家作品、古書、花や植物など多様なジャンルを融合させ、ライフスタイルを提案するイベントであると共に、天王洲アイル周辺における地域活性の一端を担うイベントとして、従来のマーケットの枠を超える複合イベントを目指し情報を発信しました。

主催：Million Dollars Department
 一般社団法人 天王洲・チャネルサイド活性化協会
 後援：品川区
 運営：TENNOZ HARBOR MARKET 運営事務局



朝ことヨガ

日程：2024/4/20（土）・4/21（日）・5/11（土）・5/12（日）・6/15（土）・6/16（日）・7/13（土）・7/14（日）・9/14（土）・9/15（日）・10/19（土）・10/20（日）・11/16（土）・11/17（日）・12/14（土）・12/15（日）
 会場：シーフォートスクエアセンターコート・アイルしながわ

概要：運河沿いのボードウォークに隣接した施設を会場に、「ヨガ・ワークショップ」を開催。



アイルしながわ

概要：旧東品川清掃作業所の暫定活用として「アイルしながわ」をオープンし、パラスポーツをはじめとするスポーツ活動やアーティストの創作活動、地域イベント会場、ワークショップ、天王洲アートフェスティバルの創作展示の場など、様々な用途に活用しています。
 ※当協会は、品川区より本施設の暫定活用に関する管理運営業務を受託。



天王洲アートフェスティバル

日時：2024/1/10（水）～3/31（日）

概要：天王洲アイルを舞台とした壁画や立体アート展示による国内最大級の MURAL PROJECT。水辺とアートをキーワードに賑わいと魅力あるまちづくりを推進する天王洲アイルにおいて、運河沿い建築物への大型壁画アート、品川区の公共橋待合所や公園施設への壁画アート、橋樑空間における立体アートの展示、駅通路での壁画アート、そして天王洲の街中に散在する身近な作品から「アイルしながわ」屋内の大壁画の作品まで、「アートの島=天王洲アイル」を印象付けます。

主催：天王洲アートフェスティバル 2024 実行委員会／
一般社団法人 天王洲・チャンネルサイド活性化協会

共催：一般社団法人 エリアマネジメント TENNOZ

協賛：寺田倉庫株式会社／東京燃料林産株式会社／日本ペイント株式会社

協力：株式会社東横イン／三信倉庫株式会社／東京モノレール株式会社／パナソニックオペレーションズ株式会社／三井住友信託銀行株式会社／三菱 UFJ 信託銀行株式会社



天王洲アートツアー

概要：近距離モビリティ「WHILL（次世代型電動自転車）」や「電動キックボード」、およびクラウド型街巡りガイドサービス「Smart Town Walker®」を活用し、天王洲アイルに点在するアート作品を巡るツアーを実施。地域回遊を促進させ、地域と観光文化資源の理解向上を図っています。



天王洲アートクルーズ

概要：地域催事である「天王洲チャンネルフェス」開催時において、地域舟運事業者と跡見学園女子大学・観光コミュニティ学部篠原ゼミ生の協力により、運河上から屋外アートを巡るガイド付きのアートクルーズを実施。舟運を促進させるとともに、地域と観光文化資源の理解向上を図っています。



アートマルシェ

概要：地域催事である「天王洲チャンネルフェス」開催時において、美大生をはじめ、若手アーティストの作品を販売するマルシェを開催。オリジナルポストカードや油彩画、アクセサリー、ぬいぐるみなどの販売、マンガ似顔絵などのアート体験の場を提供しています。



MEET YOUR ART FESTIVAL 2024

日時：2024/10/11（金）～10/14（月）

会場：天王洲運河一帯

概要：100名以上のアーティストが一堂に会する国内最大級のアートとカルチャーの祭典。アートエキシビジョン／アートフェア、船上で行われる音楽ライブ／トークセッション、全国からクラフトやエンカルに根ざした良質なマルシェが集結するマーケットエリアなど。

主催：MEET YOUR ART FESTIVAL 実行委員会（構成団体：エイベックス・クリエイター・エージェンシー株式会社／一般社団法人 エリアマネジメント TENNOZ／一般社団法人 天王洲・チャンネルサイド活性化協会）／東京都
運営：株式会社ライツアパートメント
メディアパートナー：Inter FM／ELLE／NIKKEI The STYLE
協力：令和6年度文化庁我が国アートのグローバル展開推進事業／経済産業省／品川区／寺田倉庫株式会社／日本航空株式会社

※当協会は、実行委員会の構成団体として開催に参画しました。



TENNOZ ART WEEK 2024

日時：2024/6/27（木）～7/15（月）

概要：アートシティ天王洲に国際水準のアートコンテンツを誘致し、国内外のアート関係者が来訪する場を創出することで、日本と海外のアートシーンを繋ぎ、国際文化観光を目指すアートイベント。現代アートのみならず、工芸、アニメーション、建築、食など、日本の文化の多様性や、各文化が根づく地域の魅力も紹介することで、芸術文化への関心が高い訪日アートコレクターや、旅行者に対してもアートシティ天王洲の魅力を発信し、アートシーンを盛り上げました。

主催：寺田倉庫株式会社

協賛：ルイナール

協力：一般社団法人 天王洲・チャンネルサイド活性化協会

後援：品川区

※当協会は、企画運営協力を行いました。



SOMPO JAPAN CUP 2024 ホッケータウンマルシェ

日時：2024/6/30（日）

概要：ホッケー女子日本代表の国際親善試合「令和6年能登半島地震被災地支援 さくらジャパン壮行試合 SOMPO JAPAN CUP」会場におけるホッケータウンマルシェを企画運営しました。

主催：公益社団法人日本ホッケー協会

特別協賛：損害保険ジャパン株式会社

後援：スポーツ庁／東京都／品川区／大田区／駐日韓国大使館

協力：しながわホッケー地域応援プロジェクト／石川県ホッケー協会／石川県立金沢北陵高等学校

※当協会は、企画運営業務を受託。



大学連携

概要：当協会は各大学と連携し、天王洲と水辺の魅力の磨き上げや、地域の文化観光の創造推進に取り組んでいます。

<東京海洋大学>こども大学プログラム

天王洲チャンネルフェス秋冬において、さかなクンをはじめとした東京海洋大学の教員や学生が、海で暮らす生きものと日本周辺の海について深く、広く紹介する学びの場を提供。プログラム内容：「さかなクンと一緒に学ぼう！」（東京海洋大学 東海正先生×さかなクン※ビデオ出演）・「水素燃料電池推進船「らいちょうN」に乗ってみよう！」（東京海洋大学／大出剛先生）・「うみがめってどないきもの？〜これできみもうみがめはかせ〜（東京海洋大学／うみがめ研究会）」・「みんなで挑戦！船クイズ&ぼんぼん船づくり（東京海洋大学／海事普及会）」

<跡見学園女子大学>

天王洲チャンネルフェスにおける産学連携としてのインターンシップ活動を通じて、観光DXを活用した観光ガイドダンス実証実験、観光市場調査による着地型観光の検証、SNSを活用したPR活動、日本の祭りをテーマとした出店やワークショップの体験観光コンテンツなど、文化観光の体験都市と地域観光づくりを目指した取り組みを実施。実施内容：「レトロ×夏祭り」スーパーボール&お菓子すくい・「かぼちゃの収穫祭」かぼちゃすくい・「てるてる坊主作り」ワークショップ・「オリジナルトートバッグづくり」ワークショップ・「天王洲アートクルーズ」ガイド・チャンネルフェスアンケータ収集



水辺の勉強会

概要：天王洲アイル周辺の企業や団体を中心に、品川区や東京都などの行政各所や域外の各企業や団体とともに、東京・天王洲の水辺の活性化について様々な視点から考察し推進する勉強会を開催。

- 第1回 2/19（月）：水辺の報告会（総会）
- 第2回 4/18（木）：天王洲アートフェス 2024 作品披露ツアー
- 第3回 6/25（火）：品川宿まち歩きガイドツアー
- 第4回 8/29（木）：豊洲市場視察ガイドツアー
- 第5回 12/5（木）・6（金）：瀬戸内国際芸術祭視察ツアー

主催：天王洲・チャンネルサイド活性化協会



産官地域連携

<品川区>

天王洲チャンネルフェス、屋外アート展示をはじめ様々な水辺の賑わい創出における取り組みにおいて、水辺広場・防災棧橋・アイルしながわの活用などに後援・協力をいただき、ともに品川・天王洲の観光促進に取り組んでいます。

<品川浦・天王洲地区舟運事業者>

天王洲チャンネルフェスにおいて、天王洲アイルの水辺を体感するクルーズ企画を実施。東京の運河と東京湾を巡りながら、天王洲アイルのミューラルアートを鑑賞するツアーなどを通じて、舟運観光の体験促進に取り組んでいます。

<パナソニックグループ>

天王洲チャンネルフェスにおいて、産学連携・観光DX企画の実施や、パナソニックの先進技術を活用した空間演出、非接触型遠隔コミュニケーションシステムやクラウド型街巡りガイドサービスによるエリア回遊の促進など、当協会の会員法人を中心としたパナソニックグループ各社のソリューションにより、様々な社会実験に取り組んでいます。

<WHAT MUSEUM>

天王洲チャンネルフェスにおいて、展示企画者による展覧会ガイドツアーを開催。40分程度で展示室を巡りながら、本展の見どころや作品について解説し、ガイド終了後も展覧会を自由にご見学いただきました。

<EZOHUB TOKYO>

天王洲チャンネルフェスにおいて、北海道と日本をつなぐインキュベーションセンター「EZOHUB TOKYO」※北海道内自治体・企業によるPR展を開催。※北海道のヒト・モノ・コトをつなぐ共創施設として天王洲にオープンしたコワーキングスペース。

<PIGMENT TOKYO>

天王洲チャンネルフェスにおいて、特別ワークショップを開催。だれでも一度は使ったことのあるクレヨン。三原色（赤・青・黄）の顔料を使って、素材の特徴を学びながら、自分だけのオリジナルクレヨンづくりに挑戦するワークショップ。

<minikura>

天王洲チャンネルフェスにおいて、minikura バザーを開催。1箱から預けることができる宅配型収納サービス「minikura」で預かっている、衣類や本、雑貨などの不用品をバザーで販売し、販売の売上金は全額慈善団体へ寄付致しました。

<大東建託>

天王洲チャンネルフェスにおいて、バイオマス発電の燃料に用いられている木チップを組み合わせてオリジナルの鉢づくり、小さな森を植えて持ち帰っていただくワークショップ「LITTLE FOREST」を開催しました。

<GSTV>

天王洲チャンネルフェスにおいて、レジンで作る宝石ワークショップを開催。子どもから大人まで創造性豊かな作品づくりを体験する機会を提供しました。



視察受け入れ

概要：当協会では、要望に合わせた内容で天王洲に関連した視察ツアーを実施しています。産官学を問わず多岐にわたる業種・業態の団体が全国から視察に来られており、今後も文化観光の推進における魅力的な事例を紹介できるように取り組みます。



天王洲のこれまでを振り返り、これからに思いを巡らす。

学び・つながる観光産業メディア「TOURISM MEDIA SERVICE」より、協会メンバーの各寄稿の冒頭部分を転載。
寄稿全文は各 QR コードよりお読みいただけます。



はじめに

品川駅に隣接し、東京モノレールとりんかい線の交差する運河のまち天王洲アイル(東京都品川区)は、最近、アートの街として注目されており、さまざまなメディアで取り上げられる機会が増えています。アートの街といわれる要因はいくつかありますが、そのひとつが「巨大壁画」のある独自の景観であると思います。大きなものでは1000㎡を超えるものもあり、それらが天王洲アイルの景観と一体となることで新たな景観を作り出しています。しかし、この巨大壁画は描きたいときに簡単に描けるものではなく、さまざまな手続きを経て掲出に至っており、今回はこれまでの紆余曲折を書きたいと思います。

最初は「POW! WOW!」

「POW! WOW!」はハワイで始まったコンテンポラリーアートのイベントで、国内では2015年に天王洲アイルで初めて開催されました。エリア内の公開空地、建物壁面に国内外のアーティストが作品を描き、街をアートで彩る取り組みで、

当時は国内では壁画イベントの事例がほとんど無い時期に開催されたため、大きなインパクトがありました。しかしながら、手続きは最小限にとどまり、期間は設置から原状回復までが7日以内と短期間に一部条例を変更して実施されました。

しかし、この短期イベントで設置されたアート作品について、さまざまなどころから「短期で消すのはもったいない!」との声が上がリ、一部の作品を消さずに残すことができないか、この模索が現在の天王洲アイルの景観形成につながっていると考えています。(続きは QR コードから)

アートの街・天王洲を生んだ、巨大壁画

和田本聡
天王洲・チャンネルサイド活性化協会
エグゼクティブプロデューサー



東京モノレールとりんかい線の駅が交差し、運河で囲まれた天王洲アイル(品川区)は、最近、アートの街として注目されています。東京モノレール天王洲アイル駅は、羽田空港と浜松町を結ぶ東京モノレールにおいて、羽田空港へ向かう一つ目の駅として1992年に開業しました。さらに、2001年にりんかい線の東京テレポートと天王洲アイル間が開業、2002年には、りんかい線天王洲アイルと大崎間が開業しました。これにより渋谷新宿方面、お台場方面から羽田空港への乗り換え駅となりました。

1年に365万人が天王洲に來街

東京モノレールの1日当たりの乗降人員数(2022年度実績)を見ると、第1位は浜松町駅(75,646人)で、天王洲アイル駅は第2位(20,339人)となっています。ちなみに羽田空港各駅は次の通りです。羽田空港第1ターミナル駅(第4位18,033人)、羽田空港第2ターミナル駅(第3位18,834人)、羽田空港第3ターミナル駅(第9位4,613人)、羽田空港ターミナル3駅合計で41,480人となっています。

います。

天王洲アイル駅に問い合わせたところ、約半数が一般乗降人員であるとのことでした。つまり、1日当り約1万人が一般乗降人員として考えると、1年間に365万人がこの街を訪れていると推測されます。

その目的は、各オフィスビルへ向かうビジネス用途、食事、宿泊に加えて、天王洲銀河劇場をはじめとした天王洲に点在するエンタメ施設やアート関連施設への来訪のほか、(続きは QR コードから)

モノレールの乗降者数から見る天王洲(東京・品川)の都市型観光地への可能性

田嶋拓也
天王洲・チャンネルサイド活性化協会
事務局長



品川駅に隣接し、東京モノレールとりんかい線が交差する運河の街・天王洲アイル(東京都品川区)では、2012年より水辺の開発をはじめ、水辺を中心とした街の活性化に取り組んでいます。近隣の品川浦は、屋形船の集積地であり、船宿事業者や行政と一緒に屋形船や平船クルーズの観光促進にチャレンジしています。

2019年には、江戸文化を継承する屋形船を外国人旅行者向けにサービスをカスタマイズして、少人数で気軽に乗船できる「東京「屋形船」ナイトクルーズ・エンターテインメント」を運営しました。その後、コロナ禍を経て、今では人気コンテンツとなったクルーズですが、始めたころは全く乗船者のいない辛い時期がありました。水辺観光の可能性をクルーズの視点からお伝えいたします。

水辺観光は、忍耐力と拡散力!

水辺観光の可能性を広げていくには、諦めない「忍耐力」と身近なところからの「拡散力」が必要不可欠です。屋形船・平船でクルーズを何回か実施して思う

ような結果がでないからといって、「求められていないコンテンツだ」と諦めてしまうのではなく、良い点や悪い点をブラッシュアップして繰り返し運営することが大切です。また、広報活動としてSNSの活用はもちろん有効ですが、地元や近隣の方に知ってもらい、口コミで少しずつ拡散していく「拡散力」が、クルーズ成功への一番の近道だと感じています。

天王洲・チャンネルサイド活性化協会(まちづくり団体)は、天王洲運河の観光活用を目指して(続きは QR コードから)

天王洲運河活用による水辺観光の可能性

城田明洋
天王洲・チャンネルサイド活性化協会



東京モノレールとりんかい線の駅が交差し、運河で囲まれた天王洲アイル(東京都品川区)は、最近、水辺とアートの街として多くのイベントが開催されています。天王洲は江戸時代の末期に築かれた埋立地、第四台場をベースに開発された東京ドーム約5個分の小さな島です。戦後は運河に面した立地を生かした倉庫街として栄え、1990年代には再開発によって東京都内では新宿に次いで高層ビルが立ち並ぶウォーターフロントのオフィス街に生まれ変わりました。そして、現在は「水辺とアートの街」として都市型文化観光拠点を目指して新たなまちづくりに挑戦しています。

水辺の街・天王洲

四方を運河に囲まれた天王洲は、その特性から複数の棧橋があります。そして運河沿いに島を囲むように整備された総延長800mのボードウォークには、各所に椅子やベンチが設置され散策を楽しんだり、運河を眺めながら過ごせるようになっています。また、近隣の品川浦は屋形船の集積地でもあることから、羽田と

東京・品川駅に隣接し、東京モノレールとりんかい線が交差する運河の街・天王洲アイル(東京都品川区)は、「水辺とアートの街」として注目されています。世界に目を向けると、水辺とアートを彩る都市の共通点は「ビジネスインノベーション拠点」であることです。ビジネスインノベーション拠点としても注目されている天王洲アイルの実態と可能性を紹介します。

世界の水辺エリアで生まれるビジネスインノベーション拠点

アメリカ・ニューヨーク、ブルックリンのウォーターフロントに、2016年、築200年を超える海軍造船所をリノベーションして生まれ変わった「NEW LAB」が誕生しました。この施設は、起業家、アーティスト、デザイナーが集うクリエイションワークスペースです。公募で選ばれたさまざまな分野の専門家が集い、スタートアップエコシステム共創プログラムを推進するためのワークスペースとなっています。「水辺×アート×ビジネス」の融合が、新たなインノベーションを生み出すとして、現在でも注目を浴びています。

東京モノレールとりんかい線の駅が交差し、運河で囲まれた天王洲アイル(東京都品川区)。天王洲は、江戸時代の末期に築かれた埋立地、第四台場をベースに開発された東京ドーム約5個分の小さな島です。最近では、「水辺とアートの街」として多くの人が訪れています。

天王洲は戦後、運河に面した立地を生かした倉庫街として栄え、周辺には旧東海道である品川宿があります。江戸時代からの船溜まりである品川浦には、多くの屋形船も停泊しています。アイルという名前の通り、運河に囲まれた島であり、海岸通りと山手通りが交差する物流の要所でもあります。

天王洲アイルは1990年代には再開発により、高層ビルが立ち並ぶウォーターフロントのオフィス街に生まれ変わりました。現在は、「水辺とアートの街」として都市型文化観光拠点を目指した新たなまちづくりに挑戦しています。

都市交通と歩行空間の有機的な結合(品川〜天王洲)

品川駅から天王洲アイルまでは、直線距離で約800m。品川駅のコンコースが

1990年代、ウォーターフロント最先端都市として再開発が行われた未来型都市、天王洲アイル。オフィス街だけでなく、居住空間やレストラン、劇場まで完備した複合施設が建ち並び、東京の夜景が一望できるホテルも備え、当時は、東京のトレンドスポットとなりました。時代の波に乗り大きく変貌を遂げた天王洲アイルでしたが、2000年代に入ると都心に多くの複合型都市が開発され、徐々に人がそれらの都市に流れていきました。

天王洲アイルのリバイバルプラン

東京モノレールとりんかい線の乗換駅で羽田空港や品川駅、都心へのアクセスも良い天王洲アイルですが、2010年以降のオフィス街は、閑散としており、土日などの休日は、飲食店やコンビニエンスストアまで閉店するなど、街の機能が大きく低下していました。まちの地権者である寺田倉庫をはじめとした有志が集まり、天王洲のリバイバルについて意見が交わされた結果、1985年の都市再開発計画のスローガン、「アートになる島、ハートのある街」をブラッシュアップ

都心をつなぐ舟運の拠点として注目されています。

天王洲・チャンネルサイド活性化協会(まちづくり団体)は、水辺イベントを中心に水辺のにぎわいづくりを行っています。当協会が主催する「天王洲チャンネルフェス」では、クルーズ船の運航、水上アクティビティ、船上をステージにした音楽ライブなど、水辺を活かしたコンテンツを多く実施し、水辺空間のにぎわいづくりに取り組んでいます。天王洲は東京で水辺の魅力を感じながら過ごせる数少ないスポットです。(続きは QR コードから)

天王洲を訪れている人の属性から見える新たなまちづくり

木村隼人
天王洲・チャンネルサイド活性化協会



また、2017年には、フランス・パリ、セーヌ川沿いの旧駅舎を利活用して、世界最大級のスタートアップキャンパス「STATION F」が誕生しました。さらにオランダ・ロッテルダムやアメリカ・ポートランドをはじめとした象徴的な水辺を有する都市で、アートとクリエイションのコラボレーションによるビジネスインノベーション拠点が生まれています。

天王洲アイルのビジネスインノベーション拠点としての可能性

天王洲アイルは、四方を運河に囲まれ、(続きは QR コードから)

天王洲アイル「ビジネスインノベーション拠点」の可能性を探る

開野高広
天王洲・チャンネルサイド活性化協会



ら品川インターシティのペDESTリアンデッキを通じ、八ツ山公園を経て、高浜運河沿いを通り、ふれあい橋を渡ると天王洲に入ります。品川駅から八ツ山公園までは、駅から連続性を持った動線を提供しています。

この都市計画は、歩行者が快適にアクセスできる環境を構築し、地域全体が有機的に結びつくことを実現しています。バスやタクシーなどの移動交通網だけでなく歩行空間を整備することで、無機的な交通だけではない歩くことが楽しめる環境が生まれています。(続きは QR コードから)

都市開発と自然の調和によるプロムナードー天王洲アイルー

大木清隆
天王洲・チャンネルサイド活性化協会



することで、まちの磨き上げを行っていくことが提唱されました。

そして、運河に囲まれた水辺の環境を最大に生かすことで、アートと自然の調和を彩り、人々の心を癒やす空間を創造することを目指しました。2012年、寺田倉庫は、天王洲運河を中心とした水辺の開発(棧橋・ボードウォーク建設)を手掛け、2015年には、水上多目的スペース(船舶)が保留されました。緑豊かな美しい運河沿いのボードウォークには、ベンチやパラソルなどが設置され、天王洲アイルに新たな魅力的な空間が誕生しています。(続きは QR コードから)

観光地域づくり法人(DMO)と天王洲アイル #1

三宅康之
天王洲・チャンネルサイド活性化協会
理事長



入会のご案内

■ 法人会員

<https://canalside.or.jp/corporatemembership/>
運河の活性化をご一緒に活動して頂ける法人会員を募集しています。
法人会員には正会員、賛助会員の2種類をご用意しています。
入会金/年会費：正会員（一口）：50,000円
賛助会員（一口）：10,000円



■ お問い合わせ先
一般社団法人
天王洲・チャンネルサイド活性化協会
事務局
TEL：03-4405-5785
FAX：03-5479-1604
Email：canal@canalside.or.jp

■ CANAL ID 会員

天王洲アイランドおよび周辺エリア加盟店の提供
サービスを便利に使用可能なオンライン共通
ID 会員を募集しています。



■ LINE 会員

個人の方を対象に LINE 会員を募集しています。



天王洲・チャンネルサイド活性化協会
公式 WEB サイト

<https://canalside.or.jp/>



協会 公式メディア

■ 天王洲チャンネルフェス 出店者募集

<https://canalside.or.jp/storeplan/>
天王洲チャンネルフェス出店希望者を募集して
います。ご希望の方はお問い合わせください。



TENNOZ NAVI
天王洲を体験する東京観光ガイド

<https://tennoznavi.canalside.or.jp/>



■ 視察のお申し込み

<https://canalside.or.jp/visit-application/>
当協会の活動説明、天王洲の施設見学など、
視察をご希望の方はお問い合わせください。



YouTube
CANAL チャンネル



Instagram
@tennoz_canal



Facebook
tennozcanal



天王洲チャンネルフェス
公式 WEB サイト

<https://tennozcanalfes.com/>



天王洲アートフェスティバル
公式 WEB サイト

<https://tennoz-art-festival.com/>



チャンネルアートモーメント品川
公式 WEB サイト

<https://canal-art-moment.com/>



社団法人概要

名称：一般社団法人 天王洲・チャンネルサイド活性化協会

設立：2015年1月

所在地：東京都品川区東品川2-6-10

役員：理事長 三宅康之

副理事長 寺田航平

事務局長 田嶋拓也

理事 中野善壽/蓼沼恵美子/高橋剛/鈴木正和/竹内誠一/辰巳清

監事 齋藤隆幸

事務局 和田本聡 (エグゼクティブプロデューサー) / 木村隼人 (フェス実行委員長) / 城田明洋 / 大越章光 / 青木光 / 関野高広 / 久木原望 / 大木清隆 / 森結紀納 / 平田光一 / 高木美優 / 宮本雅子 / 福谷香織 / 坂井みな子 / 田中浩子 / 千々岩優希 / 林義人

法人会員：正会員

アート引越センター株式会社/株式会社アマノ/WHILL 株式会社/NTT 都市開発株式会社/株式会社エルライン/
関東石油株式会社/京浜急行電鉄株式会社/株式会社 JTB /株式会社品川カルチャークラブ/
シナネンホールディングス株式会社/株式会社 GSTV /スターツアメニティー株式会社/ソニーグループ株式会社/
株式会社タイソングズアンドカンパニー/大東建託株式会社/ティー・エス・ケー株式会社/寺田倉庫株式会社/
TERRADA Holdings 株式会社/株式会社テレビ東京/株式会社テレビ東京アート/東京海上日動火災保険株式会社/
東京都競馬株式会社/東京燃料林産株式会社/株式会社トミデン/中川特殊鋼株式会社/特定非営利活動法人なぎさの会/
日鉄興和不動産株式会社/日本航空株式会社/パナソニック映像株式会社/
パナソニック オペレーションズ株式会社/株式会社ハーバー・ブレイン/
株式会社ハーバー・リアルエステイト/阪急阪神不動産株式会社/三菱地所レジデンス株式会社/森トラスト株式会社/
株式会社代々木アニメーション学院/株式会社 LORANS. (五十音順)
賛助会員 株式会社アグリゲート/株式会社 AJEP /エクイニクス・ジャパン株式会社/芝浦荷受株式会社/
天王洲リテールマネジメント株式会社/株式会社ハリマビシステム/株式会社バルニバービ/保険情報サービス株式会社/
株式会社ヨウジヤマモト (五十音順)

連携協定：国立大学法人 東京海洋大学

産学連携：跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 篠原ゼミ/観光指導：跡見学園女子大学 准教授 篠原靖

後援：品川区/港南振興会

参加会議体：品川区主催会議 (観光振興協議会など) /天王洲地区デザイン会議

所属団体：一般社団法人しながわ観光協会/一般社団法人港区観光協会/品川浦・天王洲地区運河ルネッサンス協議会/
一般社団法人エリアマネジメント TENNOZ

登録：東京都知事登録旅行業 第 3-8499 号/観光庁 観光地域づくり法人 (DMO) 登録番号第 30179 号

指定：東京都港湾局 東京港湾協力団体

認証：プライバシーマーク 登録番号第 21005039 (01)号

※ 2025年2月現在 (敬称略)

SPECIAL THANKS

平井/三河屋/大江戸/むつみ丸/中金/丸長/丸裕/幸吉丸/縄定/船清/ZEAL/
エリアマネジメント TENNOZ /旧東海道品川周辺まちづくり協議会/品川浦・天王洲地区運河ルネッサンス協議会/天王洲会/
品川区/港区/しながわ観光協会/品川文化振興事業団/パナソニックグループ/中川特殊鋼/東京モノレール/
cup of tea /アートバラ深川おしゃべりな芸術祭実行委員会/品川区文化観光スポーツ振興部 田邊貴裕、脇田伊織、山川すず、工藤陽和/
ワッツアップ/ロケットペンシル/松岡久美子/根木慎志/日本ブラインドサッカー協会/日本モルック協会/日本バスケットボール協会/
東京都バスケットボール協会/日本カバディ協会/品川カルチャークラブ/跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 篠原ゼミの皆様/
田中長寿/海口晴彦/ Million Dollars Department /東京海洋大学 東海正、さかなクン、大出剛、うみがめ研究会、海事普及会、設楽愛子/
TOURISM MEDIA SERVICE / MOCA OLIVE 石井純館長/哲郎/敦史/力翔/出演者の皆様/出店者の皆様/ご来場の皆様
(順不同・敬称略)

Design : Yoshihito Hayashi Photos : Yoshihito Hayashi / Yusuke Suzuki (USKfoto) ※一部写真を除く。

